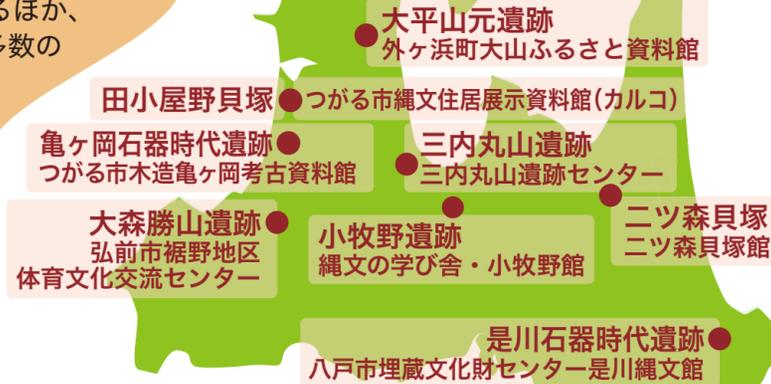


青森県が紡いだ縄文の歴史と文化

青森県は、「白神山地」をはじめ、三方が海に囲まれているなど豊かな自然に恵まれているほか、都市的土地開発が少なかったことから、多数の良好な遺跡の保存につながりました。

北海道・北東北の縄文遺跡群は、自然の恵みを持続的に利用しながら、1万年以上にわたって採集・漁労・狩猟により定住した人々の生活と精神文化を伝えています。

17遺跡のうち、青森県には8つの遺跡があります。



◆資産の集落展開及び精神文化に関する6つのステージ (青森県の資産を抜粋)

	紀元前 13,000年	紀元前 7,000年	紀元前 5,000年	紀元前 3,000年	紀元前 2,000年	紀元前 1,500年	紀元前 400年
	ステージⅠ 定住の開始		ステージⅡ 定住の発展		ステージⅢ 定住の成熟		
集落の展開	・居住地の形成	・集落の成立	・集落施設の多様化	・拠点集落の出現	・共同の祭祀場と墓地の進出	・祭祀場と墓地の分離	
構成資産	大平山元遺跡		田小屋野貝塚 ニツ森貝塚	三内丸山遺跡	小牧野遺跡	亀ヶ岡石器時代遺跡 是川石器時代遺跡 大森勝山遺跡	

#土偶を楽しむ

大型板状土偶

重要文化財指定。なんと、大きさ約30cm！このほかにも、三内丸山遺跡では日本最多となる2,000点を超える土偶が出土しています。



特別史跡 三内丸山遺跡【青森市】

アクセス：JR新青森駅よりバス「ねぶたん号」約10分
 出典：JOMON ARCHIVES (三内丸山遺跡センター所蔵)



大型遮光器土偶 (レプリカ)

重要文化財指定。眼部が北方民族エスキモーの使用する雪眼鏡(遮光器)に似ていると考えられたことから名付けられました。

史跡 亀ヶ岡石器時代遺跡【つがる市】

アクセス：JR五能線木造駅より車約20分
 出典：JOMON ARCHIVES (つがる市教育委員会所蔵)

風張1遺跡 合掌土偶

天を仰ぎ、一心不乱に力の限り深く祈る様子を表しており、その祈りは豊稔祈願や安産祈願と考えられています。

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館【八戸市】

アクセス：JR八戸駅よりバス約25分
 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 提供

#道具を楽しむ

土器片

遡ること紀元前13,000年頃のもの。重量があり壊れやすく、移動に適さないことから、土器の出現は定住の開始を意味します。

外ヶ浜町大山ふるさと資料館【外ヶ浜町】

アクセス：JR津軽線大平駅より徒歩5分
 出典：JOMON ARCHIVES (外ヶ浜町教育委員会所蔵)



ベンケイ貝製貝輪未成品

装身具の一種。同時期のものが北海道から出土していること等から、縄文時代の海峡を越えた交易がうかがえます。

つがる市縄文住居展示資料館(カルコ)【つがる市】

アクセス：JR五能線木造駅より徒歩15分
 出典：JOMON ARCHIVES (青森県立郷土館所蔵、田中義道撮影)

鹿角製櫛

本県の縄文時代の歴史における装身具の中でも傑出したものであり、当時の人々の装飾観念、製作技術の高さをうかがわせます。

ニツ森貝塚館【七戸町】

アクセス：JR七戸十和田駅より車で約10分
 出典：JOMON ARCHIVES (青森県埋蔵文化財調査センター所蔵、田中義道撮影)



#景観を楽しむ

環状列石【小牧野遺跡】

八甲田山西麓に広がる台地上に立地する環状列石を主体とする祭祀遺跡。環状列石は、全体で直径55mに及びます。

史跡 小牧野遺跡【青森市】

アクセス：JR奥羽本線青森駅より車で約35分



大型掘立柱建物(復元)と大型竪穴建物(復元)

日本最大級の縄文集落跡。水産資源豊富な内湾及び河口に位置し、後背地には落葉広葉樹の森が広がっていたとされています。

特別史跡 三内丸山遺跡【青森市】

アクセス：JR新青森駅よりバス「ねぶたん号」約10分
 出典：JOMON ARCHIVES (青森県教育委員会撮影)

岩木山を望む(大森勝山遺跡)

大規模な環状列石の後背には岩木山を望むことができ、冬至の日には山頂に太陽が沈む様子を見ることができます。

史跡 大森勝山遺跡【弘前市】

アクセス：JR奥羽本線弘前駅より車で約40分
 出典：JOMON ARCHIVES (弘前市教育委員会所蔵)